

「最上川水系におけるダム資源の活用を進める会」令和6年1月30日開催

【日 時】令和6年1月30日（火）15:30～17:00 【会 場】長井市 TASビル
 【出席者】最上川ダム統合管理事務所管内の自治体（長井市・飯豊町・西川町）関係者、ダム管理者
 【趣 旨】「ダム資源を活用した各地の振興策について情報共有し、かつ実行することにより、最上川水系におけるダム水源地域（寒河江ダム・白川ダム・長井ダム）の活性化を図る」

最上川ダム統合管理事務所管内の自治体関係者とダム管理者による「最上川水系におけるダム資源の活用を進める会」の第1回会議を、長井ダムの地元長井市において開催しました。

最上川ダム統合管理事務所から開催趣旨を説明した後、東北地整成田河川部長に挨拶をいただき、内谷長井市長、後藤飯豊町長、菅野西川町長以下、ダムのオープン化に関係する方々で、オープン化の事例を共有し、意見交換を行いました。

ダムを活用している事例報告では、東北地整庄子河川保全管理官による「全国における取り組み事例」を、やまがたアルカディア観光局鷲見副理事長兼専務理事からは「長井ダム周辺を活用した『やまがたアルカディア観光局の取り組み』」が報告されました。

その後の意見交換では、白川ダムの地元飯豊町より「白川ダム周辺でのオープン化に向けた取り組みの現状」について紹介されました。続いて、寒河江ダムの地元西川町より「寒河江ダム周辺施設の活用方法など」を、町長自ら紹介していただきました。また、長井市からは「今後長井ダム周辺で実施を考えているアクティビティ」についての構想を紹介いただきました。この意見交換を通して、ダム資源を活用する事例とアイデアについて、出席者全員での情報共有を図ることができ、各水源地域で進めている取り組みについてのヒントになったようです。

最後に、この会議を年1回開催することを確認し、次回は白川ダムの地元飯豊町で開催することを決定し、閉会しました。なお、この会議の様子は、Web会議システムを用いて配信し、東北管内のダム関係者とも、情報共有を行いました。



意見交換「各水源地域におけるダムの活用状況について」



白川ダム周辺のオープン化に向けた取り組み（飯豊町） 寒河江ダム周辺施設の活用方法（西川町）

事例報告『全国における取り組み事例』

事例報告「長井ダム周辺を活用した『やまがたアルカディア観光局の取り組み』」



東北地方整備局
庄子 河川保全管理官



やまがたアルカディア観光局
鷲見 副理事長兼専務理事



会議の実施状況